

くろつち便り

今月の内容

共助会講演会(8/19)／憲法守ろう大集会(9/19)
／畠山澄子講演会(9/27)／野草折々85(熊谷草)
／Series学校現場から40／ごてれつの独り言46
／くろつち会GG大会(10/4)／くろつち会作品
展／**次回の全曜集会は11/6日/冬時間16:30**



↑会報QRコード

くろつち会 クラウドゴルフ大会

絶好のGG日和。大会参加者はくろつち便りを紐解くと2022年から、29人→28→20→21人と推移してきて、今年度27人だ。(因みに'16年は40人)

松尾くろつち会会長

(この大会のように)人とつながることが長寿の秘訣です。賞品が豪華です。優勝を目指して頑張きましょう。

飯山実行委員長

1回大会で優勝したのは私です。また1回大会からずっと25回参加していたのは5名。病気もせんじっ頑張ってきた。今日はみなさんでできる範囲で頑張ってください。

予定より早く試合開始。会場のあちこちで歓声や感嘆の声が上がったかと思うやため息も聞こえる。



「5年ぶりのホールインワンだ」という喜びの声、豪快なショットに「オオッ」と唸る声等々、会長挨拶にあったように、繋がりが

深まったようだ。

優勝は一昨年優勝の折田さんで、中之浦さんは2年連続とはならなかったけど準優勝はさすが！。

真島さんの閉会の言葉「来年も元気な姿を見せてください」で散会しました。



結果次の通り。(敬称略)

優勝 折田美雪 36打
準優勝 中之浦慶二 37打
3位 森 轄隆 37打
4位 森 幸子 39打
5位 山口玲子 41打
BB賞 竹下幸男 53打
ホールインワン賞
中之浦慶二、森幸子
真島幸則、折田美雪
長崎雄二、茶園亮一

(打数が同じときは、くろつちルールを適用)

9条の会講演会

講師 新田秀樹
ピースリンク広島・呉・岩国
～広島世話人
11月21日(土)13時半～16時
リナシティ情報研修室
広島で米軍基地をずっと監視しておられる活動家が基地問題について講演。

提出された作文を一つ一つ読んでいくと「AIと未来を語る」という題名がなぜか気になった。読者を引き付ける作品はまず「題名の工夫」が鍵を握る。内容は今の話題そのもので興味深いものだった。しかし読み進めていくと、文章の構成や表現の仕方がしっかりと整っている。まるでAIが作成した作文か？と思わせる作品だった。条件に合った文章の作成やテスト作成など、学校現場でも「AI」の活用が進んでいる。

さて、鹿児島市のみなと大通り公園で行われた「戦争反対・憲法を守ろう」の集会に参加したとき私の顔を覗き込むように近寄ってくる人がいた。かつて「文芸教育研究会」で共に学習してきた先輩である。教材分析やレポート検討を終えた後の懇親会では、いつも「日本舞踊」を披露してくださる愉快な方だったことを思い出した。

しばらくすると、後ろから「ボン！」と肩をたたかれた。振り返ると初任校で同じ頃

「人事評価、中間報告の提出をお願いします。」という教頭からのお願いがあった。1学期の面談に引き続き今回も免除かな・・・？と思いきや、「1学期はすみませんでした。今回はお願いします。」と言われた。「1学期やらずに済んだ要件なのに今更やって意味がありますか？？」と大きな声で言う、校長室の奥からこちらを気にする顔が見えた。

さて、鹿児島市のみなと大通り公園で行われた「戦争反対・憲法を守ろう」の集会に参加したとき私の顔を覗き込むように近寄ってくる人がいた。かつて「文芸教育研究会」で共に学習してきた先輩である。教材分析やレポート検討を終えた後の懇親会では、いつも「日本舞踊」を披露してくださる愉快な方だったことを思い出した。

しばらくすると、後ろから「ボン！」と肩をたたかれた。振り返ると初任校で同じ頃

学校現場からシリーズ その40
高山小 関下俊郎 2学期が始まった。子どもたちから提出された夏休みの作品を整理するのも楽ではない。児童数が多ければ多いほど各作品の評価と出品準備に費やすのに時間もかかる。

わが母校で...パート③
る。機器の操作さえまならないのに、AI作成の作文かどうか見抜く自信はない。仕事の効率化の先に新たな課題も見えてきたような気がする。(ますます高齢職員はついていくことができないのだろうか...！)

組合加入をした先輩の顔があった。毎年会って情報交換しているが、やはりこういう場所での顔を合わせると心強い。集会に参加する意味もあるが、昔懐かしい仲間と出会えるのも今となっては貴重な時間になる。



これからの主な行事

12月までの主な行事です。日程変更があるかもしれません。

▲共助会ボーリング大会

期日 10月23日(金)
時間 18時～
笠野原ボーリング場

▲学習会忘年会

期日 11月27日(金)
受付 10時
講演会 10時30分～
忘年会 12時～14時

▲共助会料理教室

12月6日(日)
東地区学習センター

▲反原発・木原壮林講演会

10月12日(月)(14～16時半)
鹿児島市よかセンター;500円
オンライン視聴可
m-matsuzaki0416@outlook.com

友の会より

友の会GG大会
10月21日、13時

親睦旅行…一泊で計画(3月?)
友の会への入会は自己申請で、
申請書は労金内で入手できる。
特典:長寿祝い、各5千円
70才、77才、88才、99才
(公的年金受給者、要申請)

お悔やみ申し上げます

最近永眠された方々のご芳名
です。(掲載の遅延をお詫び致します)
福留 道男様 8月18日 82才
上山 四郎様 8月20日 92才
謹んでご冥福をお祈り致します。

ぶつくさ言う人 ぼてれつの独り言

46

◆桐生悠々の俳句から

生贄の報いられずして梅香る

生贄は「いけにえ」と読む。桐生は5・15事件の翌年8月「関東防空大演習を嗤う」という軍批判の社説、桐生の言葉を借りれば「言わねばならない事」を発表した翌9月、追い込まれて信濃毎日新聞(信毎)主筆を辞することになる。冒頭の句はその時の己を生贄に喩えた句だ。

自分は生贄になったのに報いられずに、益々軍がのさばっていくのを憂えた句だろうか。

あれっと思いませんか?上五・中七はいいとして、下五の「梅香る」にちょっと引っかかる。9月なのに春の季語だ。自叙伝によると桐生は元々小説家志望で、折々に触れて俳句や短歌、

詩などを多く残している。帝大卒の桐生が季語について知らないはずはない。

埒も無く勝手に想像してみた。桐生は昼間の忙しい時間帯には治まっているが、心臓の結滞(不整脈の一種)が起きることがあって苦しくなり、それを紛らすためにもよく葡萄酒を飲んでいたらしい。しかし信毎時代には3回目の禁酒がうまく行っていたけど主筆辞任の件で虫の居所が悪く、つい葡萄酒に手が伸び梅をつまみにした?。(葡萄酒に梅干しは酸味が効いてよく合うらしい。お試しあれ。)

それはともかく、桐生の自叙伝中の作品群より数点紹介する。

○天地の争い絶えじ初日の出
(大正4年「新愛知新聞」掲載)

○高き屋にのぼりて見れば煙立つ
／軍需工業は賑わいにけり／
低き野に降り立ち見れば煙なし

／民のかまどは冷たかりけり

(昭和14年「他山の石」所収)

○物言えは唇寒し夏の風でも

言論統制で悠々は何回も発行禁止の禍に会うがめげずにいた。

(昭和14年「他山の石」所収)

また、昭和15年の詩「新体制総花主義」は、特高の検閲で全文削除されている。長い詩なので掲載できないが、昭和15年という近衛内閣が中心となって軍事体制確立を目指した新党結成運動があり、それを「総花主義だ」と皮肉った詩だ。

総花というのは元々は、遊女屋などで客が使用人全員に出す祝儀の意で、転じて周りを立てて皆に恩恵を与える八方美人政策だ。どの詩句にも平和を希求している姿がある。(樋園／参考:「悠々反軍論集」「自叙伝」他)



↑クマガイソウ

←アツモリソウ

野草折々-85-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

クマガイソウ(熊谷草)
(ラン科)



花茎の上に一花がつき、唇弁は長さ5cm、大きな袋になってぶら下がっている。名前の由来は、平家物語の熊谷直実と平敦盛の話から来ている。袋状の唇弁を流れ矢を防ぐ母衣に見立てている。

2022年4月 大中尾

憲法守ろう、大集会

◆9/19 鹿屋イベント広場

全県下6会場で計画された集会で、当初志布志会場に参加予定だったが、鹿屋でも急遽計画されることになった。急遽のため連絡が不十分だったが20数名(内くろつち8名)が満腔の思いで集まった。何人かの声です。

◇真島幸則さん

いざ戦争が始まれば鹿屋からミサイルが発射される。すると敵の標的になり真っ先に狙われます。



◇柳田平和センター事務局



昨日三沢基地で無人機が事故を起こした。鹿屋に配備の計画があるが、声は小さくとも反対の声を上げ続けて行きましょう。

◇樋園



楽天が政府の軍事力強化に加担するという。これは許されない。楽天の会員を脱退して、楽天を利用しないようにしたいしカードも使わないようにしようと思っています。



樋脇さん、独特の語りで統一教会との類似点を上げられました。

◇樋園光子さん



どんどん戦争できる国に変貌しつつあります。こんな姿を子ども達や若者達に引き継ぐ訳にはいきません。私達年寄りが何とか止めなければいけないと思っています。

◇道下陽子さん



日本も徴兵制が敷かれるんじゃないかと思えます。私にも孫が居ますが、将来そういうことを経験するかと思うとぞっとします。戦争は絶対にだめです。

◇道下勝さん

日米地位協定に基づき、50万㎡の敷地を米軍が恒常的に使用できるという取り決めがあったという報道がありました。絶対反対して行きましょう。



お二人の団扇には「自衛隊員を守ります/憲法九条は」「安全より経済優先/それって大丈夫?」とあり

ました。今集会の意義を、端的に表していました。(樋園)



畠山澄子講演会

◆平和の未来を語ろう



9月27日、表題の講演(「9条医療従事者の会かごしま」主催)をオンラインで視聴した。

講師の畠山氏はTBS日曜朝の番組サンモニでコメンテーターとしてお馴染みの方で、ピースボートの共同代表をされている。

話を伺い「活動の人」だと感じた。元々「先生に誉められたと思っていた優等生」で高2の夏から2年間イタリア留学したという。そこは、自分の目と耳で確かめるという体験主義・実証主義を大切にしていたようだ。

80カ国からの生徒の中には紛争地域からの子たちも多く参加し、その子たちの話を聞いて「何かが崩れたみたいな瞬間」があったという。

その後、世界一周旅行という

言葉に惹かれてピースボートに関わるようになって、留学先での実証主義が活かされたようだ。演題の副題に「混迷の世界の中で」とあった。混迷しているからこそ、自分の目と耳でというのが大切なんだろうと思った。

◇過去の戦争を見つめ未来の平和を作る

講演は大きな柱が5つあった。1回1800~1900人、年3回の船旅で「世界で起きていることをニュースで見る見出しとしてだけではなくて、何か自分で見聞き」とするという目的の船旅だ。

世界一周の中で例えばカンボジアの地雷問題を知るやカンパを全国に呼びかけたりする活動や反原発活動等々、グローバルな課題を発見し取り組んでいる。

◇顔の見える国際交流

例えばイスラエルとパレスチナから各35人ずつ船旅に招待したりすると、彼らも少しずつ変

わってきた例などを紹介された。

◇みんなが主役で船を出す

これは自分にできることが何かあるっていう実感を持てるような仕掛けを作ること。例えば、カンパや鍵盤ハーモニカなど募って現地に届けるなど。

◇目を逸らさない、声を上げる

世界各地の厳しい状況から目を逸らさずに声を上げて行く。

□韓江の言葉「過去が現在を助けることはできるか?/死者が生者を救うことができるのか?」

韓国のノーベル賞女性作家、韓江氏の受賞スピーチの言葉で、今の活動の意味づけをされた。

例えば被爆者がずっと語り継いできたことが核兵器禁止条約へと結実し、歴史を動かした。

同様にくろつちの活動も、50年100年後の世界に少しでも影響を与えていることを期待したい。

講演はYouTubeで公開中。 <https://youtu.be/5RwK7Rq1Fc8> (樋園)

共助会講演会

◆ 発達障害の特性と支援

一個々の特性に合わせた柔軟な支援

講師 鹿児島大学教授 肥後祥治



表題の講演会が、8月19日、リナシティであった。講師は肥後祥治先生。

参加者は150名程で、発達障害児への支援の重要さと関心の深さが分かる。くろつちは10名程だったろうか。

先生が最初に指摘されたのは、私達はこれまで、発達障害の子ども達が定型発達の子とも達、つまり普通の子とも達とどう違うかという視点でしかあまり語って来なかったが、そうではなくて視点を変えてみようということだった。

見方の違いでいろいろに見

えるということ、有名な騙し絵「ドクロの隠し絵」を使って説明された。鏡の前の貴婦人にも見えるし頭骸骨にも見えるという奇妙な絵だ。

(絵、光村中1国語教科書より)

講演の随所で「色眼鏡」という言葉が使われていた。見方という意味だ。つまり各人は「色眼鏡」を通して対象を見て判断しているので、それぞれの評価が異なったとしてもどちらが正しいかということではなくて「同じものを見ても同じように理解するとは限らない」ということだ。

大事なものは、障害という見方でなくその子の特性と捉えること。例えば、ひらがな横書き文は読めるのに縦書き文を読めない子がいたとして



「どうして読めないの」と聞いても、その子にしてみれば「先生はどうして縦書きも読めるの」ということになる。

その他、多動の子など多くの事例を引きながら、無論学校の協力体制を前提にしながら、子ども達のいろいろな見方に寄り添うことの大切さを話された。

さて話が飛躍するが、世の中「色眼鏡」付きが多い。討論の少ない国会運営や詭弁答弁などはその最たるもので、政権側が自分の「色眼鏡」に固執している。また「2600年男系継承」を何の根拠なく発言し学会から誤りを指摘される等々、世は色眼鏡だらけだ。

実社会でも「色眼鏡」付き見方を如何にして見破るかが益々大切になってくる。(楢園)



くろつち会作品展

日時：11月6日(金)～10日(火)

9時～18時 (但し10日は15時まで)

場所：イオンかのやショッピングセンター3階

7年ぶりに開催します



作品

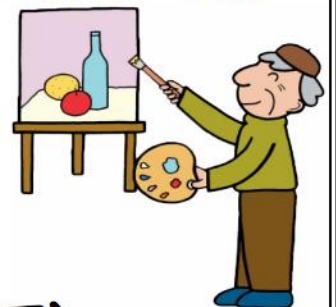
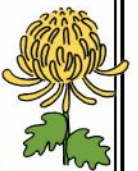
絵画・写真

書堂

盆栽・菊作品

俳句・川柳

パッチワーク他



鹿児島県教職員共助会
の公益文化事業

主催：くろつち会
(肝属地区退職教職員の会)